

## 「大学現役合格バイブル.. 新・受験勉強法 2008」



**25年間門外不出の高校生必携本！**

### 免責事項

この本は、テーマとして取り上げた事項に関し、適切かつ信頼に足る情報を提供することを意図して作られている。著者および出版元は、法律、その他の分野に関する専門的なアドバイスを与えることを保証するものではない。著者および出版元は、利益や特定の目的に対する適合性を保証するものではない。著者および出版元は、この本の内容の使用・適用によって生じた、いかなる結果に対する責任も負うところではない。もし、法律その他の専門分野で助けが必要な場合は、その分野の専門家からのサービスの提供を受けていただきたい。

この本の内容は、著作権によって保護されている。無断転載・複製を禁ずる。

## 目次

大学現役合格バイブル.....	3
1.1. Q&Aでこの必携本の趣旨を理解する.....	11
1.2. 確実に成績アップさせる戦略会議.....	14



## 大学現役合格バイブル

このたびは「大学現役合格バイブル.. 新・受験勉強法 2008」のレポート版をお求め頂きありがとうございました。

このレポートは、実際に販売されている有料の eBook(電子書籍)から抜粋したものです。また、本情報は、弊社の株式会社全人教育研究所が経営する塾で実際に使用しているマニュアルであり、高い進学率を達成させている生の方法を必携本化したものです。

目標を決めて、真剣に進めていただければ希望の大学にストレート合格できますので、是非、集中して取り組んでください。

また、私は現在 特定非営利活動法人教育ルネッサンスの理事長職として、留学の為の米国大学関係機関との交流を深めておりますので、海外留学に興味のある方は連絡を下さい。

留学の関係で、TOEFLのスコアアップを狙っている方は、コチラのサイトをご利用ください。

「TOEFL にしよっちゅう出てくる英単語2000攻略」

<http://www.besteigo.com/ryuugaku/ryuugaku.html>

株式会社全人教育研究所  
代表取締役 田邊 弘美

高校生の皆さん・・・ こんにちは！

この合格術を手にしたあなたは、とても幸運だ・・・！

なぜなら、全てのプロ教師が知っておかなければならない、エキスパートな上質情報(インテリジェンス)がいつも簡単に手に入るからだ。

これからお伝えするエキサイティングな情報が、あなたの役に立つか立たないかはとても簡単だ！

上位大学を狙う高校生に求められるべきことは、【教科知識】だけではなく【学習方法】も大切だから・・・。

教科知識として、テクニックだのノウハウだのと、それだけを求めてはいけない。大学受験ストレート合格に必要なのは『あなたの学習方法』なのだ。覚え方のコツやらテクニックやらは、【あなた自身の学習方法】を決定した上で取り組むべきなのだ。

【あなた自身の学習方法】には、年間の学習スケジュールから、その取り組み内容に至るまでのシッカリした学習方法を確定しておくことが肝要だ！

**あなたが本当に学力を上げたいならば、【あなた自身の学習方法】と【あなた自身の学習スケジュール】で取り組むことだ・・・！ <当初100日間の実践がポイント>**

学校でも予備校でも、ただ漫然と講義を聴いているだけではダメだ。理解したことを得点に結び付けなければならないのだ。そのためには、シッカリとあなたの頭の中に定着させておかなければ何の意味もなくなってしまう・・・。

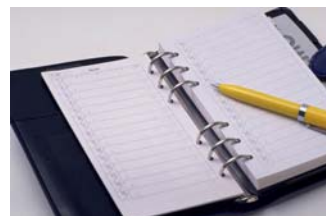
だから、最も良いのはこのページをさっさと閉じて、あなたのクラスの 1 番の人に【学習方法】を尋ねることなのだ。もしくは、このトップシークレット情報で、『誰にも負けないあなただけの学習法』を身に付けることだ！！

信用できる、まばゆいほどの『先輩の学習法』を聞く準備は OKかい??

ストレート合格という勝利を得るには、学習というあなた自身の戦術を検討しなければならない。

そこで、ここでは、あなたに相応しい戦術(学習方法)の参考になるように多くの情報を盛り込んでみた。

早稲田大学文系学部完全合格術から、国公立大学医学部ストレート合格学習法まで、バラエティーに富む学習方法を紹介している。この情報を基にして、あなたの志望大学に合わせた『学習スケジュール』を作りこんでください。



大学受験において、ストレート合格を果たす方法は単純だ。

推薦基準を満たして、推薦入試に臨むか、  
学力を上げて、一般入試で合格を狙うかの択一だ・・・！

推薦入試の秘匿情報は、別紙にて公開した。

学力を上げる方法にしても、いたって単純なことだ。

やるべきひとつの事を、徹底的に実践すれば、どんな科目でも成績は上がる。

”やるべきひとつの事”とは、「良質の教材を使い、復習を徹底すること」だ・・・！

この復習を徹底すれば、着実に成績は上がる。

偏差値45前後だった生徒が60を超えていく強者が毎年ごまんと出現するが、彼らのやったことは単純なこと、つまり ”やるべきひとつの事”だったのだ。

もちろん、偏差値を上げるにはそれなりの時間がかかる。

例えば、早稲田大学の英単語なら、10日間で40時間

日本史なら、20日間で80時間 といった具合だ・・・。

非常にシンプルだが、成績を確実にアップさせる王道は ”やるべきひとつの事”を徹底すること、これだけだ。

同じことを、搦め手から言えば、**頑張っているが成績が上がらない人は、「良質の教材を使っていない」か「復習を徹底していない」かの何れかだ・・・!**

明らかに間違った学習方法を取り入れたことが原因で、成績が上がらず苦悩の日々を送っている受験生がいる・・・。

**【間違った学習方法】 = 【時間の無駄】** と心得ておいて欲しい・・・!

さて、「良質の教材を使い、復習を徹底する」という王道は、単純だが熟考すべき点は多い。

そこで、「核心をもった受験勉強」を確立するために、下記のポイントをしっかりと抑えておくことが肝要だ!

1. 科目ごとの使用教材 (適教材 適科目)
2. 科目ごとのペース配分 (先学年内容先取 → 3年次はたつぷりと演習)
3. テキストを正しく使いこなす
4. 「答案作成能力」を高める
5. 素直

あなたが実行する戦術対策の為に、科目ごとの具体的な『受験勉強方法』については、別章で説明する。

ところで、1年生の皆さん！

私：「進学できた、あなたの今の学校のメリットは何だい？」

(大学受験に向けてのメリットです…)

あなた：「ウチの高校は、合格実績がとていいんだ」

私：「ということは、普通の学校とは違うカリキュラムなんだね…」

◆この会話は、「カリキュラムの特徴」を理解していただきたいためのものだ。

合格実績の高い高校は、大学受験前までに、1日でも多くの過去問・演習が出来るようにカリキュラムが工夫されているという「強み」があるのだ。このことを逆に考えると、このような「進学校の強み」があなたに発揮されるのか否かという視点が大切なのだ…！

『カリキュラムの強み』の論より証拠をお教えしましょう！

医学部(難関学部)について考えてみて欲しい。

医学部学生の出身校の多くは、中高一貫校ないし進学実績の高い学校だね。

また、多くが中受経験者だ。

※中学校・高校の6年間で、みっちり時間をかけて、大学受験に向けた勉強をしてきた人たちだ。つまり、『勉強できる環境が整っている』人たちの強みが医学部という難関学部を突破するのに役立っている証拠なのだ。

◆中学生の時は、高校受験で頭がいっぱいだった1年生のみなさん！

キミ達は、「大学受験のことまで頭が回らなかった」というのが正直なところでしょう。しかし、そんなに悠長には構えてられないよ…。だって、大受では上記のような環境にいた人たちとの競争なんだから…。

もっと具体的に言えば、彼らは中学2年の時には既に高校1年の勉強を始めていたんだよ…。あなたが因数分解を勉強し始めた中学3年の時に、彼らは正弦定理を教わっていたりするのだ…！

**この受験術を手にしたあなたは本当にラッキーだ…。**



だって、普通なら、高校に入ってすぐに大学受験に照準を合わせればまだしも、そう簡単にはいかず、早くても、高校2年生になって気付くのがせいぜいだから・・・。

意外と高校3年生になって、夏休み越えてから焦り出す人が割合的に多かったりするの現実なのだから・・・！！

◆「高校受験」と「大学受験」の違いに気が付いた1年生は、実に心強い。

高校受験と同じ感覚で良いかどうかは、考えてみればハッキリする。  
高校受験と同じ勉強方にいつまでもシガミ付いてはいけない・・・！

部活動が終わって、中3の夏から必死に詰め込みをはじめたあなた・・・。  
それでも、どうにかナンバースクール(トップ高校)をクリアしてきた「経験」があるあなたであればこそ、ここで大学受験の勉強法にシフト出来ない危険なことになる！！

※「地域受験」と「全国受験」とは全く意味合いが違うことにいち早く気が付くべきだ！  
大学受験では、浪人生とも闘わなければならないのだ・・・。

※また、高校は高等教育を受けるところなので、自ら進んで勉強しなければならないのだ。いつまでもうっかりしてはいけない・・・！

※大学全入時代が目前に迫る中、高校生の深刻な勉強不足の実態が新聞で報道された。少子化や大学定員の増加に加え、推薦入試やAO入試の拡大などで競争の厳しさが緩和したと、多くの生徒が錯覚している分析だ。更に、将来の進路が不透明なままなので “何のために学習するのか” という目標設定に悩む高校生が多いのも事実だ。つまり、受験そのものが学習意欲を掻き立てるきっかけになっていないのだ・・・。

1年生のあなたに期待したいのは、ここに、絶好のチャンスが到来していることにいち早く気付いて欲しいということだ・・・！

ここで、再度、忠告をしておく・・・。少子化でも大学側は、入学定員を減らさないし、生徒の質も落とさない。むしろ、定員は増やすし、レベルは上げる。このような中で、これからのあなたの努力は、社会人になって立派に反映されることになる・・・！！（ワーキングプアが生み出されている中であってだ・・・）

◆2年生と3年生は、『大学受験の原理原則』をシッカリ知っておこう！

大学受験は、丸暗記だけでは簡単に突破できないからこそ苦勞するわけだ。また、大学受験の原理原則を間違えてしまうと、取り返しのつかない結果になってしまう。

ここで1つ検証してみよう。

- ・ 学校風土としてこの「原理原則」をじっくり生徒にわからせる習慣がある学校は、確かに、進学実績が高い。
- ・ 積極的に時間をかけて、この「原理原則」をひも解いている学校は更に合格実績が高い。
- ・ 「メンタル面」を重視し、時間をかけて生徒と接している学校は、受験熱(ムード)が高い。
- ・ メンタル重視は、レベルの高い高校ほど顕著である。  
教員各位がその必要性を強く理解している。

『高校では、自分から進んで勉強しなければ効果が薄い』

というように自覚できれば、大学受験の原理原則を間違えることはない。

全国の、学習環境がとてつもなく良く整った受験生との戦いが大学受験である。

誰も彼もが、同じ条件下に置かれての日々の戦いである。入試までの限られた『1日24時間という土俵』で如何に闘わなければならないかを深く理解すべし！

では、どうすれば良いか！

大学受験においては、「行動する」というメンタル面が、あるかないか・・・！

たった、それだけだ。

その「行動力」の源(エネルギー)が心(考え方)だ。

学習へと向かわせる“こころ”が全てを決するのだ。優れた合格実績を出し続けている高校は、生徒へのモチベーションという培養液をシャワーリングさせているのだ。

この必携本で、行動すべき内容が決まったら ”こころ” を強く育てつつ 後は、行動あるのみだ・・・！！

## 1.1. Q&A でこの必携本の趣旨を理解する

この必携本の概要を、事前に下記の Q&A で理解しておこう！

Q:この必携本の特徴を1つ上げるとすれば、なんですか？

A: **ストレート合格最短学習法**が分かることです。試行錯誤しながら大学受験を目指すのも、人生においてはひとつの選択肢ですが、遠回りをする時間がない受験生には最適な学習方法になります。

Q:では、なぜ必携本なのですか？

A: **時に応じて読んで欲しい**からです。

志望学部や受験方法に関係なく必要とする内容が盛りだくさんです。

Q:他から販売されている学習法と、どこが違うの？

A: 毎年毎年、前年度においての入試を実際にクリアしたリアルな勉強法を元に改定を重ねている点がこの必携本の特徴です。しかし、他を圧倒的に差別化している点は、**「具体的な教材指示」**や**「暗記トレーニングの提供」**です。

Q:モチベーションを高める精神論は必要ですか？

A: はい、必要です！この必携本においては、そのマインドを維持すべく要所要所において、考えどころを明記しています。

Q:浪人生には役に立ちますか？

A: 浪人生のあなたは、現役生よりも「自分の苦手分野・不得意教科」をシッカリ把握しているはず。そこで肝心なのは、それをどう克服すれば良いのかといった具体策です。一般の浪人生は、具体的な学習方法を知らないのです。または、これでよいのかどうかいつも不安に苛まれるのです。ただただ焦るだけなのです。そして、予備校通いに安心の救いを求めることになるのです。しかし、具体的な学習法さえ見つけることが出来れば、合格への道は確実に見えてきます。この必携本で、あなたにあったあなた自身の学習法を決定してください。浪人生のほうが、

現役生に比べて効果は大きいです。受験を経験してきた浪人生は、現役生以上にこの必携本を読むと、その凄さがおわかりになるでしょう。浪人生は、自分の弱点や苦手意識的なところを既にわかっていますから、その弱点補強や苦手分野克服法を効果的に知ることが出来るという面では、大変有利です。

Q:1 学期が終って購入しても役に立ちますか？

A:高校3年生が7月以降にこの教本を利用するに際して、想定されるケースは幾つかあります。

- ① 受験科目に関する『8月の特別特訓法』を、メールフォローで受けることが出来ます。
- ② センター英語(世界史・日本史)の完全習得教材を利用することができます。  
(高3生及び高卒生には、無料でこの教材学習を提供します。)
- ③ 追い込みに必要な学習教材が分かります。

Q:中学生ですが、役に立ちますか？

A:実は、中学生の保護者ほど読んでいただきたい必携本です。ただし、個々の案件により必要な情報が違いますので、メールフォローをご利用ください。特に、**大学進学のための高校選びには、最大の効果が発揮されます**。教務的にも、先学年内容先取という意味合いから考えると、より早くから取り組むことは重要です。

Q:ストレート合格できる大学とは、どのレベルを指すのか？

A:基本的には、全大学が対象です。しかし、さすがに旧帝国大学である東京大学と京都大学などは誰でもというわけには行きませんので、一応対象外とします。

Q:国立志望でも私立志望でも役に立ちますか？

A:この必携本には、ストレート合格に必要な考え方をお伝えしております。最難関学部の合格術を基にすると、簡単に他学部の学習法も見出すことが出来ます。もちろん、国公立も私立も共通する点が多いので「あなた自身の学習法」を身に付けてください。最終的には、3年生になってから”各大学の公開模試”を受験することがポイントになります！

Q: 文系に進学希望なのですが役に立ちますか？

A: 文系学部は、暗記項目に関していかに効率よく身につけるかが最大のポイントです。特に現役生は、限られた時間内での暗記勝負ですから『効率暗記』が求められます。超難関大学を合格していった先輩の学習法とテキストはしっかりと糧にするべきです。

Q: 理系に進学希望なのですが役に立ちますか？

A: 医学部合格法を中心とした、具体的な学習法も盛り込みました。  
おそらく、この必携本を超えるアドバイス本はないと自負しております。

Q: この必携本は全部読むべきですか？

A: 第1章は、合格する生徒の共通項を述べています。

ムリせずにやり遂げる生徒の心もちを紹介していますが、このようなマインドの話を敬遠したい方はこの章を飛ばしても良いです。

第2章は、一般受験を決定した生徒が読む内容です。既に、推薦受験を決めている方はほんの参考程度に読み飛ばしてOKです。

第3章は、推薦入試でストレート合格を目指す方の情報です。

秘匿情報に溢れています。

推薦入試希望者は、メールフォローをご利用ください。



## 1.2. 確実に成績アップさせる戦略会議

さあ！

それでは、あなたの勉強法がダイナミックに変わる戦略会議を始めよう！！

まずは、あなたの学校でも既にレクチャーされたことと思うが・・・再認識の為に以下は必読だ。

彼れを知りて己を知れば、百戦して殆うからず。  
彼れを知らずして己を知れば、一勝一負す。  
彼れを知らず己を知らざれば、戦う毎に必らず殆うし。

上記は、『孫子の兵法 総説』に出てくる有名な言葉だ。

相手の実状も知って自己の実情も知っていれば、百戦とも危険な状態にならない。  
相手の実情を知らずに自己の実状だけを知るのならば、勝ったり負けたりする。  
相手の実情も知らず自己の実状も知らなければ、戦うたびに必ず危険に陥る。

大学入試も、まさにこの言葉が当てはまる。

何をさておいても、まずは「敵(入試)を知る」ことだ !!

だから、あなたも、まず「敵を知る」には、

具体的な志望校や学部の情報、

入試科目の配点や合格ライン、

最近の入試の出題傾向・・・など、様々な情報を仕入れることだ。

国公立大志望者は、センター試験と二次試験との配点比率は重要だ。

特に、「過去問」は志望校の情報の宝庫だ。

実際、合格者の殆どが、志望校の過去問を紐解いているのは事実だ。

また、「己を知る」ためには、先ずあなた自身の実力の把握が必要だ！

その回数および間隔は、1年で1回、2年で2回などと自由だが遅くも高3の1学期には、大手予備校などの模試に参加しその結果を有効活用するようにしよう！

●特に、天下分け目の戦いと称される夏を迎えるにあたっては、「己を知る」、つまり自分が理解できていない部分はどこなのか、苦手分野は何なのかを具体的に把握しておくことは大切だ。。

この意味においては、実は、その準備段階にある5月・6月こそが天下分け目の戦いとなるべきなのだ。。(残念ながら多くの受験生はこのことを知らない。。！)

●天高き秋に、点を高く確保したいなら「己を知る」努力を怠りあるな。。！

●次学年に移行する前には、あなたの弱点を模試等で必ず見つけ出しておこう！

また、模試の結果は、一喜一憂するのではなく、間違ったところを研究するために活用することが大切だ。あなた自身の弱点補強に活用することだ。

その為には、模試ノートを一冊作り、間違った問題をノートに書き出し、

なぜ間違ったか？

勘違いしたのはどこか？

関連事項で押さえないといけない箇所はないか？

等々に関して、徹底的に分析しなさい。

このノートは、試験直前には強力な点数稼ぎのデータベースに必ずなる。

模擬試験は、あなたの現在の学力診断をするいわば健康診断のようなもので、不健康な部分つまり弱点を健康体にする診断手段と考えると良い。

実力を客観的判断するための模試だが、それを具体的に把握するのが味噌だ。

例えば、英語で「長文読解が苦手」と苦手分野を抽象的にとらえるのではなく、「構文の把握はできるが、関係詞に絡むのは苦手」というように、より具体的に把握

することが肝要だ。

模試にはもうひとつの効用がある。

いわゆる場慣れだ。場慣れをしておけば本番でも気負わず平常心で受験が出来るので、多くの受験生がいる雰囲気慣れておこう！

大変重要なことなので、再度おさらいだ。

- ・大学受験合格に向けて、敵を知り己を知ることはもっとも重要！
- ・その為にあなたがする具体的なことは、
  - ①今現在の自分の状況を「数値的に把握」する
  - ②そしてそれを基に「分析」し
  - ③「対策」を練る ことだ。

この戦略検討をあなた1人で行うのなら、十分この必携本を熟読するように・・・。

ご家族との戦略会議にご利用できるのなら、この必携本の内容を、共通認識を持って話し合うと良い。

グイようだが、戦略が決まったら、後は実行あるのみだ！

(注) **実行に臨んで、この戦略の為の時間は惜しんではいけない。**徹底的に熟慮するべきだ。なぜなら、**上質学習法を取り入れた勉強という”戦術”は、戦略が誤っていたら取り返しが聞かないことになるからだ。**

◆ 最短で確実に成績を上昇させるために・・・

確実に成績を上げるには、自分の成績を科目ごとにキチンと分析すること。

**時間を掛けて、「分析」することが何よりも必要になる。自分の苦手科目や分野は何で、その分野を攻略するための資料を集めるのだ。必然的に、弱点補強に必要な克服法が見出されてくる。だから、その前に、把握が必要なのだ。**

出来ない問題を1つ出来るようにして、初めて学力が付く。出来るようになるプロセスには、**”解法に至る考え方”が重要**になってくる。この”解法に至る考え方”という**「途中プロセス」を重視する勉強方法に切り替わったとたんに、成績は上昇の兆しが見えてくるのだ。**”解法に至る考え方”を習慣化すると、あなたの成績は比例上昇から**二次曲線上昇を始めるようになる。**



まあ！ 以上に関しては、この必携本をお求めのあなただから、既に実行済みの方や、あっさりと読み進められる方が多勢でしょう…！

さて、この必携本をお読みのあなたの受験日までの残された時間はどのくらいだろうか？

難関大学にストレート合格していく生徒の特徴は、入試直前でも余裕を持っていることだ。間際の追い込みにあたっては、計画的に時間を費やせる取り組みをしているものだ。合格していく生徒は、土壇場でバタバタしないのだ。

合格していく生徒は、“解法に至る考え方”を重要視するという「成績上昇の成功法則」を当初から実践してきているのも理由のひとつだ。

言い方を変えると、合格していく生徒は、“丁寧な勉強方法”を着実にやり続けているのだ。それは、一見華やかでも派手でもない。むしろ、地味だ！ **この地味なことをやり続ける秘訣の1つが、『敵を知る』という姿勢だ。**

己の内なる敵を知り、さらに、志望大学という外なる敵を知ることだ。入試問題という要因のみならず、大学そのものを知り尽くすことが、ひそかに受験勉強をやり続ける原動力となっているのだ。

入試を熟知し、大学を熟知するということは大きなパワーになってあなたにエネルギーを注入してくれるのを理解できただろうか？

大学そのものを知ること、在学中にいったい自分は何をするのか？

将来の自分にとって、何が役に立つのか？…などと、外的要因を突き詰めていく過程で、だんだんと目線が自分に近づいてくる。必然的に、自分と向き合うことになる。これが、地道な受験勉強をシッカリやり続ける原動力になっているのだ。そして、これこそがストレート合格の王道なのだ！！

将来自分の役に立つ大学のなんたるかを知り、そこに入る為の入試攻略を練り、ストレート合格の王道を行くために、あなたがすることは、将来設計だ！

**精度の高い将来設計が立てられれば、シッカリと自分に対峙できる訳だから、強いパワーの発生源になること受けあいだ！！**

受験勉強に、これほど強い見方はない…！！

◆ 難関国公立大学では、二段階選抜で合格者を選定する。

一般的に、配点比率は二次試験の方が高い。

しかし、センター試験で点数を取りこぼすのは命取りになるので、侮ってはいけない！

センター試験を軽んずるわけにはいかないのだ。高得点(90%以上の得点率)を確保する為に、あなたがすべきことは、学習法の確定だ！

『学習項目の前倒し』をする『先学年内容先取』を基本にすることだ。



補足

●レポートをお読みいただき、ありがとうございます。

この必携本には、私のこれまでの知的財産を全て網羅しました。  
きっと、あなたのお役に立てるところが幾つか合ったに違いありません・・・！

しかし、大切なのは情報ではなく、実践です。  
あなたの行動なくしてこの必携本の価値はありません！

ですから、あなたには声を大にして訴えます！！

「何が何でも実践せよ・・・！」と。

やるもやらぬもあなたの心1つの置き所で決まるものです。

一般入試の学習スケジュールを貫徹するにしても、推薦入試の指定校枠をゲットする為の日常の授業対応にしても、日々の実践が非常に重要な要件になるわけです。

ところが、この毎日の実践は実に難しい…。

「きょうは疲れた…」・「明日は、～だから」と、その日にやるべきことを先延ばしにしてしまう生徒が非常に多いのです。

人間だモノ…！と、のほほんとしていられないはずなのに…

そこで、折に触れてこの必携本を紐解いて欲しい。

一般入試・推薦入試の何れにしても長丁場の戦いだ。その為、途中においては成績が振るわない時もある。すると、自分のやっていることが、これで良いのかどうか不安にさいなまれる。ニンゲンだもの。しかし、こんな時こそ【正しい努力】を思い出して欲しいのだ。例にも出した、あのタイガーウッズの日々の基本動作を…！

ご挨拶の欄でも書きましたが、私は、NPO 法人教育ルネッサンスで学校支援活動を長年行っております。設立当初から取り組んできた不登校や高校中退者支援においては筆舌に表せない案件が山のようにありました。特に10代半ばを過ぎた青少年が挫折を期にどんどん退行して行く様は、実に不憫でなりませんでした。

中学受験の猛勉強→中高一貫校でのエリート教育→不登校

この不幸の連鎖の歪は、ひとりひとり非常にまちまちでした。

実は、今回、この必携本を作った理由のひとつがここにもあるのです。

この必携本の中味は全国どこでも通用する。さすれば、この必携本の中味を知らないが故に、高校の担任に踊らされたり、受験勉強一辺倒に収められたり、果ては高校を中退していくという末路…、あるいは、大学受験に当たってこのように悲観的な毎日で過ごす若者を

これ以上増やさなくて済むのではないか・・・と考えたのが本音なのです。

情報商材を販売しておいて、“きれい事”と受け取られることを覚悟で、本心をお伝えしておきました。

10代半ばという年頃は、人生で一番迷う時期ではあるが、一番光り輝いていい時期でもあるのです。

だったら、行く先(ここでは大学)を決めたら、その行き先に相応しい学校生活を満喫するべきなのです！

大学入試を一般受験する場合には、つべこべ言わずに受験勉強一辺倒の生活を見て上げるのは正しいが、推薦という違った進学形態を決定づけることができたら、話は違うのです。

大学受験に際しては、出だしの段階で学習スケジュールも学校生活も違ったスタイルが可能なのです。

つまり、行きたい大学にストレートでいける方法をこの必携本で学ぶことが出来たら、それもひとつです。楽しく学園生活に嵩じつつ有名大学に進学して行けるのですから・・・このことを、全国の保護者や生徒に伝えたいと決意したのです。

この必携本を最後までお読み頂いたご縁を、今後も大切にしたいと思います。

是非とも、

**【無駄のない一般入試合格】**

もしくは

**【楽しく過ごしながら有名大学に進学する推薦入試】**にて、大いなる勲章を得ていただきたいと切に願うばかりです。

教育業界に関わって 25 年の節目をきっかけに懇親の力を込めて書き上げたこの必携本を存分にご利用くださることを期待しております。

●無料サポートについて

この必携本を精読後、いつでも、あなたはメールによるサポートを受けることが出来ます。期間は、どなたも30日間です。

フォローの為のお問い合わせのメールが届いてから30日間です。ですから、開始日はあなたのペースでいつでも始められます。

サポートの為のメールアドレスは、コチラです。 [tanabe@zenjin.co.jp](mailto:tanabe@zenjin.co.jp)

●「圧倒的な国語力」サポートについて

圧倒的な国語力を身につけるには、連続 30 日間の集中トレーニングが必要です。このサポートは、有料ですべて弊社が直接管理します。

その他、ご不明な点等ございましたらお気軽に [itb@zenjin.co.jp](mailto:itb@zenjin.co.jp) までご連絡ください。

●有料版 eBook(電子書籍)

「大学現役合格バイブル.. 新・受験勉強法 2008」を

お求めの方は、コチラをご覧ください。

<http://varsity3.zenjin.net/>